



平成16年10月29日

各位

会社名 豊和工業株式会社
 代表者名 取締役社長 野崎東太郎
 (コード番号 6203 東証・名証 第1部)
 問合せ先 取締役総務部門長 坂野和秀
 (TEL. 052 - 408 - 1001)

「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用
 および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成17年3月期中間決算より「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することを平成16年10月29日開催の取締役会において決定いたしましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年5月25日の決算発表時に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用について

当社は、財務諸表の透明性を高め、財務体質の健全化を図るため、平成17年3月期中間決算より「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することといたしました。

減損処理予定額は次のとおりです。

	連 結	個 別
減損処理予定額(特別損失)	127	178

(金額の単位:百万円)

なお、これらの影響額は平成16年5月25日公表の業績予想において、概算額を織り込み済みであります。

2. 平成17年3月期中間業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,500	20	10
今 回 修 正 予 想 (B)	12,000	770	710
増 減 額 (B - A)	1,500	790	720
増 減 率 (%)	11.1	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期中間)	15,151	194	146

(金額の単位:百万円)

3. 平成17年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	16,000	40	10
今 回 修 正 予 想 (B)	14,500	740	640
増 減 額 (B - A)	1,500	780	650
増 減 率 (%)	9.4	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期中間)	17,296	240	176

(金額の単位:百万円)

4. 平成17年3月期通期業績予想数値の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	29,000	150	130
今回修正予想(B)	27,000	540	490
増減額(B-A)	2,000	690	620
増減率(%)	6.9	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	31,381	134	269

(金額の単位：百万円)

5. 平成17年3月期連結業績予想数値の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	34,000	240	190
今回修正予想(B)	31,500	510	430
増減額(B-A)	2,500	750	620
増減率(%)	7.4	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	35,636	303	352

(金額の単位：百万円)

6. 修正の理由

中間期の業績は、専用工作機械が生産遅延などによる出荷のずれ込みにより、金属製建具が官公庁の発注の遅れなどから、売上高は前回予想を下回る見込みです。また、減収による利益減に加え、棚卸資産評価損約5億2千万円(単独・連結)を営業外費用に計上するため、上記の損益となる見込みです。

下半期については、上半期の業績悪化要因がかなり解消され、業績は上向き見込みですが、上半期の落ち込みをカバーするまでは至らず、通期の業績も前回予想を下回る見通しです。

7. 棚卸資産評価損について

韓国向け専用工作機械の現地組付・調整費用が多額に発生しましたが、この内、異常な原価であると認められた約5億2千万円について、平成16年9月中間期(単独・連結)において棚卸資産評価損として営業外費用に計上いたします。

以 上